

# 申部

◇名古屋支局◇  
名古屋市中村区  
那古野1-38-1階  
星光通ビル5階  
☎052(566)2290  
FAX052(566)2291

大府市(岡村秀人市長)は市立中学校4校の体育館にLPガス仕様GHPと災害対応型バルク貯槽を設置し、GHPの稼働を始め

た。昨年9月に入札を決定し同月中旬から工事を開始、当初は今年3月ごろまでかかる見通しだったが、予定を大幅に前倒し12月中旬に全4校への設置を終了。1月18〜19日に学校側に設備のメンテナンスなどに関する最終説明を行い、全工程が完了した。LPガス供給は大府市プロパンガス協同組合(伊藤頼一理事長)に加盟する4事業者が行う。

## バルク+GHP

# 4中学校体育館に

## 大府市が稼働 LPガス供給

大府、大府西、大府北、大府南の4中学校にアイシン精機製のLPガス仕様・電源自立型GHP4基を導入した。各校とも体育館と隣接する武道場の2カ所を空調する。各校のスペックは体育館が室外機5馬力+室内機8台、武道場が5馬力+室内機4台で総馬力

は約60馬力、4校合計で約240馬力となる。これで4校の体育館は災害時に避難所として快適な空調利用が可能となり、夏場の熱中症予防にも貢献する。平時利用への期待も高まる。大府市では夜間にスポーツを楽しむ市民への体育館の時間貸しが活発化している

が、体育館スポーツで最も人気を集めているのが「インディアアカ」だ。バドミントンのシャトルコートに似た羽根付きのボール(インディアアカ)を、ネットを挟み対する2チームが手で打ち合

い点数を取り合う新しい団体競技である。館内は空調による送風の影響を

受けやすいバドミントンには向かないが、インディアアカに利用されるケースが増えている。市はGHP導入を機にスポーツ人口が増えることを期待している。

大府市は災害対策として、LPガス仕様GHPや非常用発電機の導入を積極的に進めている。この

また、昨年12月には愛知県LPガス協会中央支部(手島寿宏支部長)が、市内にある至学館大学(谷岡郁子理事長・学

長)と災害発生時にLPガスや燃焼器具を優先供給する災害協定を締結した。県協会が県内の国公立立大学と災害協定を結

んだ初のケースとなった。市と連携を強化する一方で、同校へのLPガス仕様GHP導入の期待も膨らむ。